

次の文章を読み、まずこの文章の要点を述べ、次に英語教育の意義についてあなたの考えを述べなさい。全体で600字以上800字以内で書きなさい。

教育とは、「人間をつくる営み」であると考えます。もしかすると「つくる」という言葉に違和感を覚えるかもしれませんが、育てるや成長させるではなくあえて「つくる」とさせていただきます。では、「人間をつくる」とはどういうことなのか。

教育は「人間をつくる営み」であるということは、教育をすることによって人間が人間になるということです。哲学者のカントの言葉に次のものがあります。

人間は教育によってはじめて人間となる

この言葉は、人間は教育によって、精神的にも身体的にもその可能性を開花させるということがわかります。また、同時に人間社会で生きていくための必要な社会的能力を身に付けさせることができるのです。

このことを証明するかのような事例も存在します。一八六七年のインドにおいて、ダイナ・サニチャーという六歳ほどの少年が森の中で狼の群れと同じ洞窟で過ごしていたところをハンターによって発見されました。少年はサニチャーと名付けられて、インドにある孤児院で育て、教育されました。その孤児院でサニチャーは生肉を食べたり、地面から食べ物を食べたり、服を剥ぎ取ったりする狼のような行動をとっていました。孤児院では、これらの行動をやめるようにサニチャーに教育を施しました。また、発見当時は四足歩行をしていましたが、直立で歩行できるようになり、喜びや怒りなどの感情表現もできるようになりました。しかし、サニチャーは孤児院での教育があっても最後まで(二五歳) 言語を話すことはできませんでした。

このことから、乳幼児期に周囲の人間との言語によるコミュニケーションを取らないと、言語能力が育成されることがわかります。つまり、人間は社会的環境の中で、周囲の人間から影響を与えられることで、人間になっていくのです。また、十数年かけても言語能力が発達しなかったことから、人間にとって発達に段階があり、適切な段階で見合った働きかけを行わないとその能力が目覚めないこともわかります。このように、人間を人間たらしめるための行いを教育と言えるのではないのでしょうか。

教育とは

再びこの問いに戻ってきました。教育とは、「人間をつくる営み」です。しかし、教育を行う側は常に教育を受ける側(主に子ども)のことを考え、教育を受ける側が将来どのような姿になってほしいかについて考える必要があります。ただ漠然と教育を受ける側に働きかけるのみでは、それは教育とは言えません。現在の教育を受ける側の姿と将来の姿を比較し、「どのような能力・道徳などが必要であるのか」「その能力・道徳などはどのようにして育成できるのか」について考え、計画、実行することが教育を教育たらしめ、その教育が人間を人間たらしめるのです。つまり教育とは「人間を人間にするために」将来像を想定し、目的・目標を立て、実行する行為であるのです。

出典 藤原拓士「教育とは何か? どのような営みなのか?」(一部改変あり)